

みんなで考えよう

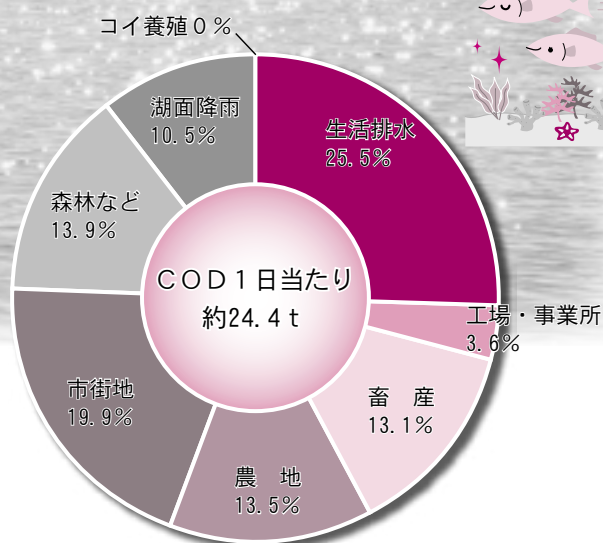
霞ヶ浦の水質浄化

日本で第二の大きさを誇る霞ヶ浦は、本市を始め流域人口約100万人の生活に欠かせない恵みをもたらしています。しかし、生活排水などによる水質汚濁がなかなか改善されず、その浄化対策が大きな課題となっています。

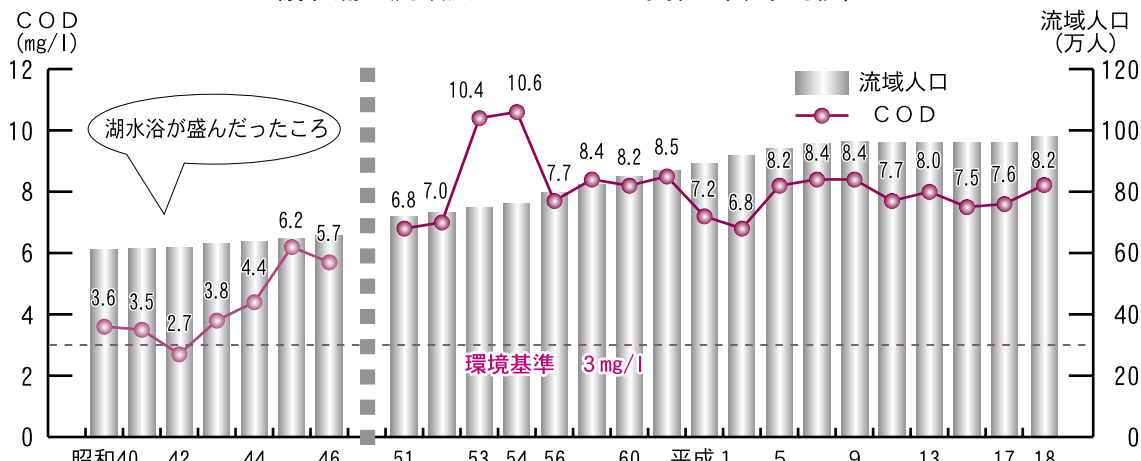
汚れの原因としては、家庭からの生活排水が全体の約3割を占めています。生活排水はさまざまな経路を経て霞ヶ浦に流れ込み、その水が浄水施設で浄化され、再び飲料水として私たちのものに届きます。これからも「母なるふるさとの湖・霞ヶ浦」と共存していくために、皆さんも身近にできることから水質浄化について考えていきましょう。

固環境保全課（☎内線2449）

汚濁負荷割合(COD):平成17年度



霞ヶ浦の流域人口とCODの変化(年平均値)



※COD(化学的酸素要求量):湖や海の水質汚濁具合を測るうえで最も代表的な指標。この数値が大きいかほど汚濁が進んでいることになります。

※昭和46年度までは西浦湖心の数値を使用し、昭和47年度以降の数値については、霞ヶ浦(西浦・北浦・常陸利根川)の環境基準点の平均値を使用しています。

〆霞ヶ浦水質浄化強調月間のお知らせ〆
昭和57年に「茨城県霞ヶ浦の富栄養化の防止に関する条例」が施行され、その施行日を記念し、9月1日を「霞ヶ浦の日」としました。県では、「海の日」から「霞ヶ浦の日」までの期間を「霞ヶ浦水質浄化強調月間」として、各種啓発事業を実施しています。また、各市町村では水質浄化意識を高めることを目的に「霞ヶ浦浄化キャンペーン」を展開しています。

霞ヶ浦や河川の学習会など

霞ヶ浦や河川についての学習会なども行われ、多くの方が参加しています。



◀水のたんけん隊
霞ヶ浦の湖上で船に乗って水質調査を行いました。

水の情報交流会▶
小学生が学校を越えた意見の交流をしました。



◀中学生水環境研修会
研究成果の発表を通し、学校間の情報交流を図りました。



- 私たちにできる霞ヶ浦浄化対策
- 台所には、目の細かいストレーナーや三角コーナーを設置するなど工夫しましょう。
 - 天ぷらなどを揚げた油は、使い切るか固形剤で固めてごみとして出しましょう。
 - なべや皿の汚れは、ゴムベラで落としたり、紙でふくなどして洗剤の使用を少なくしましょう。
 - 調理くずは、コンポストなどでたい肥化しましょう。
 - お風呂の残り湯は有効に使いましょ。
 - 庭木や草花、菜園などへの肥料や農薬は使いすぎないようにしましょう。
 - 川や湖にごみを捨てないようにしましょう。

